

社会資本総合整備計画

〔鹿児島市における都市公園の整備推進と安全安心化（第2期）〕

事後評価シート

令和4年3月

（鹿児島県 鹿児島市）

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和4年3月

計画の名称	鹿児島市における都市公園の整備推進と安全安心化（第2期）									
計画の期間	平成31年度～令和3年度（3年間）	交付対象	鹿児島市							
計画の目標	鹿児島市における都市公園は、住民の多様なニーズに対応した公園の整備が必要であり、高齢者や障がい者等を含むすべての市民が安全で安心して利用できるよう、施設のバリアフリー化や老朽化した施設の改修が求められている。 本計画では、トイレ等のバリアフリー化や公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を実施することにより、公園施設に係るトータルコストの低減を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、利用しやすい公園の整備を推進する。									
計画の成果目標（定量的指標）	・都市公園におけるトイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等による再整備率を24%（平成31年度当初）から25%（令和3年度末）に増加									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
	都市公園の公園施設改築等の状況をもとに算出する。 (都市公園施設の再整備率) = (公園施設の改築等を行った公園数) / (平成31年4月1日現在で開設している公園数) (%)					当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R2末)		最終目標値 (R3末)	
						24%	-	25%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	209 百万円	A	209 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0 %

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・鹿児島市公共事業評価検討委員会（内部）での審議 ・鹿児島市事業評価監視委員会（外部）での審議	・令和4年1月 公表の方法 ・ホームページへの掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H31	R2	R3	R4	R5		
A-1	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島市公園施設長寿命化対策支援事業	赤原南公園等14箇所における遊戯施設等の改築	鹿児島市						108	
A-2	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	高見公園等5箇所のトイレ等のバリアフリー化等	鹿児島市						78	
A-3	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島市都市公園施設長寿命化計画改定事業	公園施設長寿命化計画の見直し	鹿児島市						23	
合計													209		

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H31	R2	R3	R4	R5		
合計																

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H31	R2	R3	R4	R5		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H31	R2	R3	R4	R5		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・都市公園におけるトイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等を行った結果、都市公園施設の再整備率が増加し、公園の安全・安心が確保されたことにより、高齢者や障がい者等を含む多くの市民にとって利用しやすい公園の整備が図られた。			
II 定量的指標の 達成状況	都市公園における園路・トイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等による再整備率	最終目標値	25%	目標値と実績値に差が出た要因	当交付金による整備のほかに、土地区画整理事業などで新規に開設する公園についても、バリアフリー化への整備を進めたため。
		実績値	25% (R3.12.1現在)		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画の見直しに伴う各公園施設の健全度調査により、現在の施設の劣化状況等を把握することができ、これらの調査結果を踏まえて、より実効性の高い計画（計画期間：R3～12、対象公園数：223）を新たに策定した。このことにより、公園施設の計画的な維持管理及びライフサイクルコストの縮減が期待できる。 定量的指標は、H31年度当初時点の開設公園数666を対象とした再整備率であるが、達成状況の補足として、公園施設長寿命化計画（H25策定）の対象の220公園の再整備率では、52.3%から55.0%に増加した。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
今後も引き続き、公園施設のバリアフリー化や、長寿命化計画に基づく施設の改築を実施することにより、公園施設に係るライフサイクルコストの低減を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、より多くの市民が利用しやすい公園づくりを推進する。					